

# 妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くエンパワメントに関する研究

湯浅 祐希子<sup>1)</sup>・富岡 美佳<sup>2)</sup>・梅崎 みどり<sup>3)</sup>

## A study on empowerment that gives pregnant primiparas confidence in childcare

Yukiko Yuasa<sup>1)</sup>, Mika Tomioka<sup>2)</sup>, Midori Umezaki<sup>3)</sup>

### 要旨

本研究では、妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くエンパワメントを明らかにし、育児不安軽減のための支援を検討することを目的とした。A県内の産科を有する病院の外来に通院している初産婦5名に、インタビューガイドに沿って半構成的面接を行い、質的帰納的に分析を行った。その結果、【妊娠経過に伴う心理的プロセス】、【妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くプロセス】、【妊娠中の初産婦を支える環境】があり、育児に自信を抱くエンパワメントの力として、【何とかなると信じる子育て】へ繋がっていた。妊娠中の心理過程を理解して、母親役割獲得への支援、妊婦を支える環境に目を向ける必要性がある事が示唆された。

キーワード：初産婦，育児，エンパワメント

### Abstract

The purpose of this study was to clarify the empowerment of pregnant primiparas to be confident in child-rearing and to consider support for reducing child-rearing anxiety. Five primiparas were interviewed semi-structuredly according to an interview guide and analyzed qualitatively and inductively. As a result, there are [psychological process accompanying the course of pregnancy], [process in which pregnant primiparas have confidence in childcare], and [environment that supports pregnant primiparas], and the empowerment that gives confidence in childcare. As a force, it led to [somehow believing childcare]. It was suggested that it is necessary to understand the psychological process during pregnancy, to support the acquisition of the role of mother, and to look at the environment that supports pregnant women.

Keywords: primipara, childcare, empowerment

## I. 緒言

育児不安とは、育児という新たな技術や行動を習得していく際に生じる未知の体験にまつわる感情であり、渡辺ら（渡辺ら，2005）は、育児不安の要因として育児に関する知識や経験の不足，社会的な孤立や疎外感，養育者の性格特性，児の気質，家族の支援不足，情報過多による混乱などを報告している。一般的に初産婦は初めての育児であり経産婦に比べ，育児への戸惑いや困難を感じる人が多いことが知られている。

これまでに育児不安については，さまざまな観点から研究がなされており，山口ら（山口ら，2009）は，育児不安が高まる時期は産後1ヵ月であり，この時期に育児の不安が解消されないことで，育児不安が高ま

ると述べている。そして，小室ら（小室ら，2013）は産後1ヵ月間の母親は日々の家事や育児に取り組み，生活に落ち着きを取り戻すために多くの葛藤があり，初産婦は産後の1ヵ月という時間で育児技術の習得はできても，育児の楽しさやゆとりを感じる精神的な余裕は持ち難いと述べている。

育児不安の内容に関する研究（玉上ら，2007）では，初産婦の育児不安の内容の多くは，「授乳方法」，「児の啼泣時の対応」，「母乳分泌」であり，「児の啼泣時の対応」，「沐浴方法」，「乳房の手当て」，「抱き方」は経産婦より有意に多かったとことを報告している。また，望月ら（望月ら，2013）は，子育て中の養育者の環境に関する研究で，核家族，少子化，地縁・血縁の希薄化など子育て中の養育者を取り巻く環境が激変

1) 津山市役所・Tuyama City Hall

2) 姫路大学看護学部・Faculty of Nursing, Himeji University

3) 山陽学園大学・Faculty of Nursing, Sanyo Gakuen University

し、多様な育児不安やストレスを抱えながら孤立した中で子育てをしている養育者の増加により、育児不安は高まり、虐待等不適切な養育の増加が懸念されることを指摘している。

育児不安に対する妊娠中からの支援について(玉上ら, 2007)、妊婦の時から母親学級などの産前教育を受講することにより、「母親になるイメージ」、「子どものイメージ」をつかむと述べており、また、斎藤(斎藤, 2002)は、育児不安について情報交換し、実際の育児を行っている人たちの悩みや相談事を聞くことで、育児という未知の不安をあらかじめ、他人の経験談を通して、疑似体験することで軽減できると報告している。

このように先行研究では、産後の育児不安に関する研究についての報告は多くされているが、妊娠中の母親が育児に自信を得ていくことを明らかにしたものはない。そこで、本研究では、妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くエンパワーメントを明らかにし、育児不安軽減のための支援を検討することを目的とした。

## II. 研究方法

### 1. 用語の定義

本研究では、エンパワーメントを、看護学大辞典の定義を用い「自分の生活や置かれている状況を自らコントロールしていくプロセス」とした。

#### 1. 研究期間

2014年8月～9月

#### 2. 研究対象

研究に対して同意が得られた、A県内の産科外来に通院中の初産婦5名とした。

#### 3. 調査方法

研究の趣旨を理解し研究協力を同意が得られた初産婦に、研究目的、匿名性の保証、研究参加の自由意志などを口頭と書面を用いて説明し同意を得た。そして、インタビューガイドに沿って、「自分のお腹に赤ちゃんを授かった時の気持ち」、「妊娠してから日常生活の変化や気持ちの変化」、「子育てについての印象」、「現在受けているサポート」、「医師、看護師、助産師などの医療関係者から受けている支援」、「今後医療者に期待する支援」について半構成的面接を行った。

#### 4. 分析方法

録音データから逐語録を作成した。逐語録を読み、対象者の体験を全体的に把握した。対象者の語りから質的帰納的に分析を行った。分析過程においては、質的研究者のスーパーバイズを受け、信頼性の確保に努めた。

## 5. 倫理的配慮

山陽学園大学・短期大学研究倫理審査委員会の審査を受け、承認後に実施した(平26大013)。調査対象者には、面接調査前に研究の趣旨と目的、研究協力依頼、研究参加における自由意志の尊重、個人情報保護と管理、研究による利益・不利益について書面と口頭で説明し同意書を取り交わした。

## III. 結果

### 1. 研究参加者の概要(表1)

研究参加者は、A病院の外来に通う妊婦5名とした。年齢は、20代が1名、30代が4名。初産婦が5名。妊婦の妊娠週数は、妊娠20週から39週であった。研究参加者の概要を表1に示す。

表1 研究参加者の概要

|    | 妊娠期間         | 初・経 | 年代  |
|----|--------------|-----|-----|
| A氏 | 10ヶ月(36～39週) | 初産婦 | 30代 |
| B氏 | 6ヶ月(20～23週)  | 初産婦 | 30代 |
| C氏 | 8ヶ月(28～31週)  | 初産婦 | 30代 |
| D氏 | 9ヶ月(32～35週)  | 初産婦 | 30代 |
| E氏 | 8ヶ月(28～31週)  | 初産婦 | 20代 |

### 2. 妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くエンパワーメント

本文中の【】はカテゴリー、《》はサブカテゴリー、＜＞はコード、「」は研究参加者の発言を表す。

#### 1) 妊娠経過に伴う心理的プロセス(表2)

##### (1) 恵まれた妊娠に大きな喜び

妊娠したことに対しての捉えは、《涙が出るほど嬉しかった妊娠の喜び》、《妊娠した恵まれている自分への戸惑い》などで、＜驚きを通りこした喜び＞、＜赤ちゃんを欲しがっている人の中の妊娠＞と捉えられており、大きな喜びを感じている反面、周りの人の中の妊娠で恵まれている自分に戸惑っていた。

##### (2) 私だけつらく余裕がない

「余裕がなくて、つわりもすごかったので(A)」と、【私だけつらく余裕がない】日々を送っていたが、「…妊婦に対して…なんか幸せそうになっていうイメージがあったけど、フフフフ、自分になってみたら、えらいばかりで(A)」と妊婦に対して良いイメージを抱きすぎていたために、余計に余裕がない日々になってしまっていた。

##### (3) 少しずつ感じた赤ちゃんの実感

「胎動を感じ始めてから、あっ本当にいるんだなって(D)」という《胎動で感じた赤ちゃん》

表2 妊娠経過に伴う心理的プロセス

| カテゴリー                | サブカテゴリー           | コード                                                                             |
|----------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 恵まれた妊娠に大きな喜び         | 涙が出るほど嬉しかった妊娠の喜び  | 涙が出るほど嬉しい妊娠                                                                     |
|                      |                   | 驚きを通りこした喜び                                                                      |
|                      |                   | 念願の赤ちゃんを授かった喜び                                                                  |
|                      | 妊娠した恵まれている自分への戸惑い | 恵まれている自分への戸惑い                                                                   |
|                      |                   | 赤ちゃんを欲しがっている人の中の妊娠                                                              |
|                      | 祝福された妊娠           | 周囲に祝福された妊娠<br>周りの理解があった妊娠                                                       |
| 私だけつらく余裕がない          | 私だけ感じる妊娠のつらさ      | 体調が悪かったあのころ                                                                     |
|                      |                   | すごく激しかったつわり                                                                     |
|                      |                   | 私だけが感じる妊娠したえらさ                                                                  |
|                      | 余裕のない自分           | 妊娠初期の余裕のない自分                                                                    |
|                      |                   | しんどいことがまさっている状況                                                                 |
|                      |                   | 妊娠の実感がなく苦しんだあのころ<br>幸せそうなイメージと違う妊娠生活                                            |
| 少しずつ感じた赤ちゃんの実感       | つわりがきっかけで感じた赤ちゃん  | つわりがきっかけで実感した赤ちゃん<br>つわりによる強く感じた赤ちゃんの存在                                         |
|                      |                   | だんだんお腹が大きくなってくるとわく実感                                                            |
|                      | 胎動で感じた赤ちゃん        | 赤ちゃんの胎動を感じて始めてやっと実感                                                             |
|                      |                   | つい最近実感した赤ちゃん                                                                    |
|                      |                   | 赤ちゃんの実感と楽しみ                                                                     |
| 大切な私の赤ちゃんに膨らむ想像      | 男の子でも女の子でも大切な赤ちゃん | 男の子でも女の子でもいいと思う夫<br>どちらでもいい赤ちゃんの性別<br>最初の子だから育てやすい同性の赤ちゃん<br>小さいころは男の子も女の子もかわいい |
|                      |                   | 泣いている赤ちゃんの強いイメージ                                                                |
|                      | 泣いている赤ちゃんの想像      | よく泣くイメージの赤ちゃん                                                                   |
|                      |                   |                                                                                 |
|                      |                   |                                                                                 |
| 家で過ごすことが増えて<br>楽な気持ち | 我が家で過ごす落ち着いた日々    | 妊娠により減った外出<br>体がいうことをきかず家に引きこもり<br>ゆっくり家にいることが楽                                 |
|                      |                   |                                                                                 |
|                      |                   |                                                                                 |
|                      | 変化のない日常生活         | 安定している体調<br>変化のない日常生活                                                           |
|                      |                   | あまりピンとこない日常生活の変化                                                                |
| 近づく出産への期待と不安         | 仕事の両立で不安定になった出産前  | 体がついていけないこと実感<br>仕事の影響で不安定になった妊娠生活                                              |
|                      |                   |                                                                                 |
|                      | 赤ちゃんに思いをよせる       | 大きな心でいることを心がけている                                                                |
|                      |                   | 胎教によいことを頑張る自分                                                                   |

や「つわりとかしだしたぐらいですかね (C)」という《つわりがきっかけで感じた赤ちゃん》として【少しずつ感じた赤ちゃんの実感】が湧いていた。

#### (4) 大切な私の赤ちゃんに膨らむ想像

生まれてくる赤ちゃんに対して、＜どちらでもいい赤ちゃんの性別＞や《泣いている赤ちゃんの想像》をしており、【大切な私の赤ちゃんに膨らむ想像】が大きくなった。

#### (5) 家で過ごすことが増えて楽な気持ち

＜妊娠により減った外出＞、＜ゆっくり家にいることが楽＞と《我が家で過ごす落ち着いた日々》を送っており、【家で過ごすことが増えて楽な気持ち】であった。

#### (6) 近づく出産への期待と不安

近づく出産につれて、《仕事の両立で不安定になった出産前》という人もいれば、「あんまりカリカリしたりすると、小さいことはクヨクヨしないようにしよう。あとは寝るときに胎教によい音楽を探して聞いてみたりとか (E)」という＜大きな心でいることを心がけている＞ことや＜胎教によいことを頑張る自分＞という期待を込めて頑張っていた。

## 2) 妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くプロセス (表3)

### (1) 目の前の出産を越える覚悟

出産に対する思いとして、「……産むときのあの出産の痛みとか、怖いですね (C)」、「…産むのが痛い…から (B)」と＜出産の痛みに対する恐怖＞や＜死ぬ思いで赤ちゃんを産むことの想像＞をしている。また、＜一番の不安は出産＞であると出産に対して色々な想像や思いを抱いているが、＜なるようにしかならない出産＞と覚悟を決めている様子が見えたと感じた。

### (2) 夫と赤ちゃん和我

生まれてくる赤ちゃん和我夫和我自分を想像し、＜想像の中の夫和我赤ちゃん＞や《夫和我仲良く子育てをする》などこれからの【夫和我赤ちゃん和我】の生活に対して期待を膨らましていた。

### (3) 夫に過度な期待をせず安定した日々を送る

妊娠中のしんどさなど＜自分の本当の思いに気付かない夫＞であるため、＜夫へ期待せず気持ちを動かさない自分＞を保ち【夫に過度な期待をせず安定した日々を送っていた】。

### (4) かけがいのない夫の存在

「重いものを持ってくれたり、気遣ってくれる (E)」と《気遣ってくれるようになった夫》や、

《夫の存在の大きさ》を実感しており、【かけがいのない夫の存在】であった。

### (5) まだ“不完全な母親”を実感

「妊娠してるってわかってるんですけど、完全になんかお母さんになったっていう感じでもないですね (C)」と【まだ“不完全な母親”を実感】していた。

### (6) 何とかなると信じる子育て

子育てに対して大変だと実感し「たいへんかもしれないんですけど、楽しくできたらいいなって (A)」と子育てに前向きになり、【何とかなると信じる子育て】であった。

## 3) 妊娠中の初産婦を支える環境 (表4)

### (1) 身近なインターネットの情報を頼る

＜手軽な携帯電話を使った情報収集＞を行っているが、「助産師からネットを全部鵜呑みにしてはいけなくて (A)」と【身近なインターネットの情報を頼る】ことと誤情報に注意をすることが語られた。

### (2) 信頼できる存在

「母親はしんどい時期もサポートしてもらえた (D)」という《信頼をおく実家の母親》や、＜相談している職場の人＞など信頼できる存在が大きかった。

### (3) 安全基地としての病院

病院の存在としては、「うん。そう。ずっと10ヵ月間、お腹にいる間にねえ。やっぱり来ないといけないので (A)」と病院選びは慎重に行っており、＜慎重に選んだ病院＞は＜相談しやすい医療従事者がいて、＜安心できる病院＞であると捉えていた。「まあとりあえず初めてで何もわからないので、その辺教えてほしいかな (B)」と初めてでわからないため、《必要な時期に的確な情報提供を希望》していた。

本研究では、15カテゴリー、35サブカテゴリーが生成された。分析の結果、1) 妊娠経過に伴う心理的プロセス、2) 妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くプロセス、3) 妊娠中の初産婦を支える環境、という3つに構造化され、中核カテゴリー「何とかなると信じる子育て」が生成された。それらの関連を、初産婦が育児に自信を抱くエンパワーメントの軌跡のプロセス (図1) を作成した。

## IV. 考察

初産婦が育児に自信を抱くエンパワーメントに焦点をあてインタビューを行った。妊娠経過に伴う心理的

表3 妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くプロセス

| カテゴリー                   | サブカテゴリー          | コード                     |
|-------------------------|------------------|-------------------------|
| 目の前の出産を越える<br>覚悟        | まず越えないといけない出産    | 出産を経験して母親になる            |
|                         |                  | なるようにしかならない出産           |
|                         |                  | まずは出産が先                 |
|                         |                  | 覚悟が決まっている出産             |
|                         | 死ぬ思いで産むことをイメージ   | 出産の痛みに対する恐怖             |
|                         | 不安な出産と子育てに蓋をする   | 死ぬ思いで赤ちゃんを産むことの想像       |
|                         |                  | 一番の不安は出産                |
|                         |                  | 出産しないとわからない不安           |
|                         |                  | 一人でいると強まる不安             |
| 夫と赤ちゃん和我                | 夫と仲良く子育てをする事の想像  | 育児の不安にふたをする             |
|                         |                  | 夫と私と子どもとのバランス           |
|                         |                  | 親になると我慢が必要              |
|                         |                  | トラブルを避け子育ての役割分担を夫に伝える意思 |
|                         | 生まれてくる赤ちゃん和我の存在  | 夫に伝えた自分の思い              |
| 夫に過度な期待をせず<br>安定した日々を送る | 夫に期待しないよう言い聞かす自分 | 生まれてくる赤ちゃんが第一           |
|                         |                  | 想像の中の夫と赤ちゃん             |
|                         |                  | 夫へ期待せず気持ちを動かさない自分       |
|                         | 思いに気づかない夫を遠目に感じる | 期待はしていない夫のサポート          |
|                         |                  | 期待しないように言い聞かす日々         |
|                         |                  | 喜んでいる夫を遠目に感じる           |
|                         |                  | 自分の本当の思いに気づかない夫         |
| かけがえのない夫の存在             | 夫の存在の大きさ         | しんどいところまでこないと気づかない夫     |
|                         |                  | 手伝ってといわない限りやらない男の人      |
|                         |                  | 男として夫にはわからない妊娠          |
|                         | 気遣ってくれるようになった夫   | 実感する夫の存在の大きさ            |
|                         |                  | そばにいてだけで安心する夫の存在        |
|                         |                  | 夫がいるだけで楽になるつわりの症状       |
|                         |                  | よそと比べて助けてくれるうちの夫        |
| まだ不完全な母親を<br>実感         | 大変な子育てと不安を抱く     | 夫が手伝ってくれて助かっている家事       |
|                         |                  | 夫と私との役割分担               |
|                         |                  | 実感が湧いて支援してくれる夫          |
|                         | 完全にお母さんになっていない   | 大変だと創造する子育て             |
|                         |                  | 両立が大変そうな子育て             |
|                         | わからないことがわからない    | 生活リズムが崩れそうな子育て          |
|                         |                  | 半分半分になったお母さん            |
| 何とかなると信じる<br>子育て        | 何とかなる私のこれからの子育て  | 完全にお母さんになっていない今の自分      |
|                         |                  | わからないことがわからない           |
|                         |                  | 思いつかない支援                |
|                         |                  | 受けない支援が見当たらない           |
|                         | 赤ちゃんに膨らむ期待       | 大変でも楽しくやれると想像する子育て      |
|                         |                  | なんとかなるこれからの子育て          |

表4 妊娠中の初産婦を支える環境

| カテゴリー            | サブカテゴリー          | コード                  |
|------------------|------------------|----------------------|
| 身近なインターネットの情報を頼る | 多くの情報を鵜呑みにしない    | 情報が多すぎて迷う            |
|                  |                  | 鵜呑みにしないネット情報         |
|                  | 手軽に利用するインターネット   | 簡単に利用できるインターネット      |
|                  |                  | 手軽な携帯電話を使った情報収集      |
| 信頼できる存在          | 信頼をおく実家の母親       | 頼りにしている実家の母          |
|                  |                  | 経験者である母親の存在の大きさ      |
|                  |                  | 問題にならない実家の距離         |
|                  | 友達の中の自分の出産       | 周りの友達の中の自分の出産        |
|                  |                  | 慣れている友達の子育て          |
|                  |                  | 参考にしている友達の話          |
|                  | 職場で得る子育て情報       | 職場の人から得る情報           |
|                  |                  | 相談している職場の人           |
| 安全基地としての病院       | 病院の存在            | 相談しやすい医療従事者          |
|                  |                  | 安心できる病院              |
|                  |                  | 慎重に選んだ病院             |
|                  |                  | いろいろ考えた病院探し          |
|                  | 必要な時期に的確な情報提供を希望 | 母乳に関する説明を希望          |
|                  |                  | たくさん聞かれたくない          |
|                  |                  | 的確な説明を求める            |
|                  | いい距離でいたい医療者との距離  | いつものように声をかけてくれる対応を期待 |
|                  |                  | 医療者に求める気遣い           |
|                  |                  | ちょうどいい医療者との距離関係      |

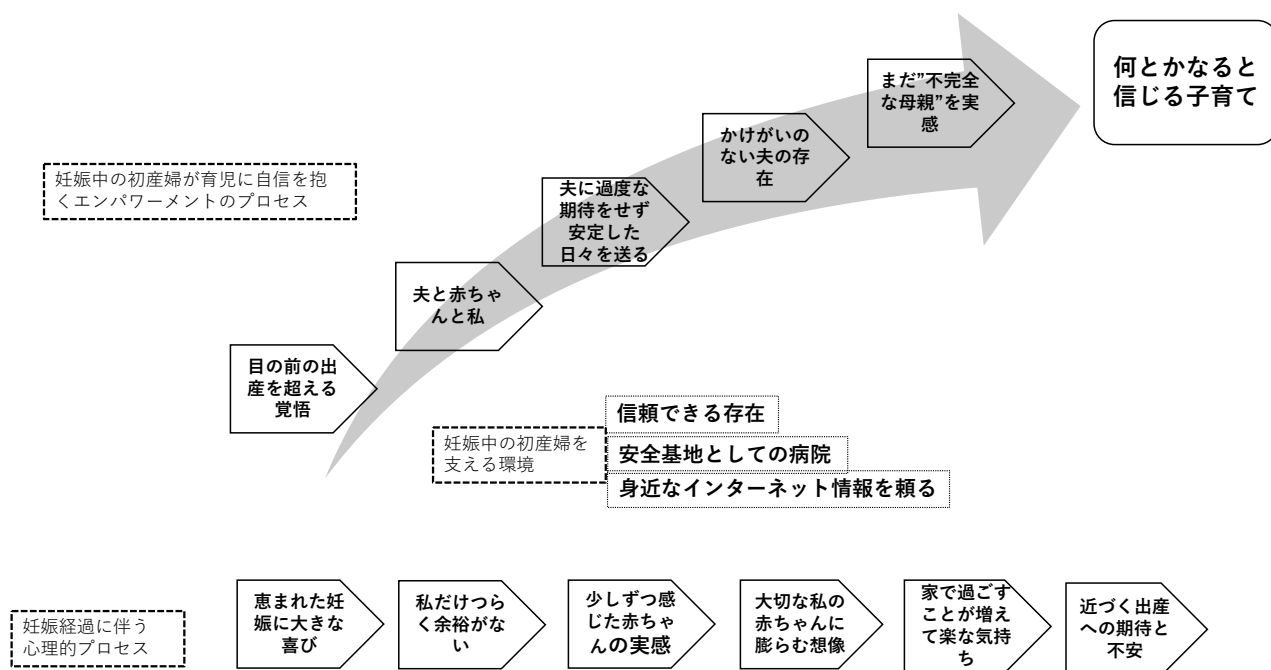


図1 初産婦が育児に自信を抱くエンパワメントのプロセス

プロセスとして、妊娠した喜びを実感し少しずつ赤ちゃんを実感していた。妊娠経過が進む中、自分だけ余裕がないと感じる時期を経て、赤ちゃんへの想像を膨らませてのんびり過ごしなが、分娩を目の前に期待と不安が入り混じる気持ちを経験していた。マーサー（Merscer, 2004）は、母親役割獲得のプロセスは、妊娠中の予期的段階として、母親役割の準備段階があるとしている。妊娠中の揺れ動く気持ちを感じながら、心理社会的課題である母親になるという役割移行が行われていた。また、ルービン（Rubin, 1967）は、母親役割を、模倣、ロールプレー、空想、投影、拒絶という過程を示しており、同時に悲嘆作業が行われている事を理論化した。本研究では、妊娠中の初産婦を支えていた実家の母や、友達、職場の人といった信頼できる存在が、模倣の対象となっていた。くわえて、大切な私の赤ちゃんとして膨らむ想像は、母親役割を獲得する過程の空想の体験となっていた。私だけ余裕のない日々は、赤ちゃんへの愛情の揺らぎとなりうるものの、エンパワメントされていく過程には、信頼できる存在、安全基地としての病院、身近なインターネット情報を頼るという支える環境により、干渉されていた。一般的にEmpowermentの思想は、1960年代の“社会的活動”の観念に根源があり、1970年代の自助（self-help）の考え方である。そしてGibsonによると（Gibson.C.H, 1991）、Empowermentに基礎をなすプロセスは、前向きな姿勢を必要とするとされる。また、Empowermentは他者との関係に関連するプロセスなので、力を与えることと得ることの両方に流動的な概念でもある。妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くプロセスにある、夫と私と子どもの生活のスタートでは、森岡の8段階（森岡ら、1992）の新婚期にあたる時期として、出産の不安を抱えながら生活し、周りの子育てを見て大変だと実感しているが、夫と赤ちゃんとの生活を想像し、エンパワ-メントされていた。産褥1ヵ月の母親の育児不安に関する研究では、初産婦の約2割が育児を投げ出したくなったり、育児に自信がないと報告されている（島田ら、2006）。しかし、本研究では、周りの子育てを大変と実感しているが、夫と仲良く子育てをすることを想像していることも明らかになった。最近では、幼少期に子どもに触れることや育児を体験する機会が少ないため、出産前教育において産後の育児がイメージできる指導の必要性や出産後も継続的に支援する病院の取り組みの重要性が示唆された。これまでの研究（長鶴、2006）と同様に子育てモデルのいる安心として、自分の周りには信頼できる存在があり、そこから情報を得ることができ、自分の子育てに自信を持つことができていた。このように、相談することで不安が軽減され、自分の子育てに

自信を持つことができ、エンパワメントされるといえる。また、多くの情報から得る確かな知識として、近年乳幼児の母親世代でのインターネット利用は日常化しており、時間や場所を問わず必要な情報にアクセスできるといった利便性がある。一方で、同時に信憑性の低い情報もあると報告されている（井田、2013）。本研究では、たくさんの情報を鵜呑みにせず、必要な情報を見極めながら自分の知識にしていた。このことから、出産後も育児に関する相談が気軽にできる専門家の窓口や社会資源の活用について情報提供を行う必要があると考える。また安全基地としての病院では、医療者といい距離でいたいということが明らかになった。妊婦には病院は安全な基地とされており、エンパワメントにつながっていることが今回の研究で明らかになった。

本研究においても、妊娠経過に伴う心理的プロセスは、これまでの母親役割獲得理論に見られる、アンビバレンツな感情を伴いながら母親役割を獲得していく過程が明らかとなった。くわえて、妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くプロセスにおいて、【夫と赤ちゃん和我】というカテゴリーが示すように、新しい家族として再構築されていく過程を実感しながら、【夫に過度な期待をせず安定した日々を送る】、【かけがいのない夫の存在】などが示すように、夫とよい距離感を形成しながら出産を待つ姿が明らかとなった。これらの初産婦を支え環境には、ルービンの示した、模倣が体験される、【信頼できる存在】や、【身近なインターネットの情報を頼る】などが明らかとなっていた。インターネットが普及する前にはなかったであろう環境に変化している事が推察される。また、専門家のいる場として、【安全基地としての病院】は、初めての出産を支えるための拠り所となっていた。このような過程を経て、中核カテゴリーとなる、【何とかなると信じる子育て】という、育児に自信を抱くことに繋がっていた。

## V. 結語

1. 妊娠経過に伴う心理的プロセス、2. 妊娠中の初産婦が育児に自信を抱くプロセス、3. 妊娠中の初産婦を支える環境、という3つに構造化された。また、これらのプロセスを経て、【何とかなると信じる子育て】という中核カテゴリーが生成された。

本研究にご協力をいただきました、初産婦の皆様、病院の皆様に深く感謝申し上げます。

なお、本論文内容に関連する利益相反事項はない。

## Ⅵ. 引用文献

- Gibson C.H. (1991) : A concept analysis of empowerment, *Journal of Advanced Nursing* 16, 355-361.
- 井田歩美, 合田典子, 片岡久美恵 (2013) : 子育て情報に関する母親のインターネット利用についての実態調査-市町村子育て支援事業に参加した乳児の母親へのアンケート結果より-, *母性衛生*, 53 (4), 427-436.
- 小室かすみ, 石田貞代 (2013) : 初産婦の産後1ヵ月時の育児不安への対処行動-第一援助者との関連-, *山梨県母性衛生学会誌* 12, 21-26.
- Mercer, R.T. (2004) : Becoming a mother versus maternal role attainment. *Journal of Scholarship*, 36 (3), 226-232
- 望月由妃子, 杉澤悠圭 (2013) : 親支援プログラム (Nobody's Perfect) を活用した虐待予防事業の評価と今後の課題に関する研究, *小児保健研究* 72 (5), 737-744.
- 森岡清美, 望月嵩 (1992) : 新しい家族社会学, 培風館, 東京67.
- 長鶴美佐子 (2006) : 周産期の実母との関係性が産褥1ヵ月の褥婦のメンタルヘルスに及ぼす影響, *母性衛生* 46 (4), 550-559.
- 斎藤京子 (2002) : 病院施設における小グループ制母親学級, ペリネイタルケア, MCメディカ出版21 (7), 24-27.
- 島田美恵子, 杉本充弘 (2006) : 産後1ヵ月の母子の心配事と子育て支援のニーズおよび育児環境に関する全国調査-「健やか親子21」5年後の初経産別, 職業の有無による比較検討-, *小児保健研究* 65 (6), 752-762.
- 玉上麻美, 小山田浩子, 廣田麻子 (2007) : 妊婦の育児不安軽減のための援助方法に関する研究-初産婦・経産婦のニーズ調査より-, *大阪市立大学看護学雑誌* 3, 25-31.
- Rubin, R. (1967). Attainment of the maternal role Part 1. Processes. *Nursing Research*, 16 (3), 237-245
- 渡辺弥生, 石井睦子 (2005) : 母親の育児不安に影響を及ぼす要因について, *法政大学文学部紀要* 51, 35-46.
- 山口咲奈枝, 遠藤由美子 (2009) : 低体重児をもつ母親と成熟児をもつ母親の育児不安の比較, *母性衛生* 50 (2), 318-324.